

ニューギニアインパチエンス飾花用マニュアル

暦	年間カレンダー											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主な作業				植え付け場所の準備 耕耘 施肥 マルチ張りなど	苗導入	定植	観賞期間					冬花壇への切り替え
定植場所	プランター植えや庭植えなどでも楽しめます。購入後にポットに十分根がまわり、晩霜のおそれなくなった頃に植え付けましょう。 強い直射日光は葉やけや株の成長の妨げになることがあります。 ニューギニアインパチエンスでは、株間25～35cm間隔、サンパチエンスでは株間50～70cm間隔で定植します。 植付場所は、保水性を保つように堆肥等を多めに投入します。特に木陰や西日の当たらない場所が生育も良く長く咲かせることができます。											
水管理	特に水切れには注意しましょう。毎日少しずつ与えると良いでしょう。また、特に8、9月の高温時には1日に数回水やりが必要になります。花や葉が少し柔らかくなってきたら必ず灌水しましょう。											
施肥管理	定植後から観賞期間中は特に窒素肥料切れに注意します。 緩効性肥料を使用する事で、全量基肥のみで追肥なしで管理することが可能です。											
病害虫防除	農薬の使用に当たっては、花き類に登録のある農薬を使用します。 夏期に、アザミウマ類の発生が見られる事があるため、薬剤防除を行います。											

花を長く咲かせるためのポイント

肥料切れと水切れをさせないことが重要なポイントになります。
 下記の様な施肥設計を参考にすると追肥せず全量基肥で生育期間中肥料効果を持続させることができます。
 施肥と同時に定植時にマルチを敷いて乾燥を防ぐと良いでしょう。

参考 具体的使用肥料 (10m×1.5m= 15㎡あたり施用量)

窒素を含む肥料		リン酸	加里	苦土石灰	微量元素	
化成8号	LP70	LPS100	過リン酸石灰	塩化カリ	タイニー	FTE
1kg	250g	250g	1.2kg	350g	1.5kg	75g

※令和2年度総合農業技術センター岳麓試験地 試験結果

標高 820m で、露地・マルチ設置したサンパチエンス、ニューギニアインパチエンス



ニューギニアインパチエンス



サンパチエンス

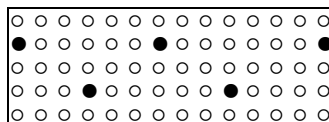
寄せ植え飾花後の様子



左：底面給水プランター、右：普通のプランター

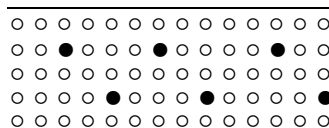
サンパチエンス、ニューギニアインパチエンスの栽植密度

サンパチエンス



栽植本数
1本/m²

ニューギニアインパチエンス



栽植本数
2本/m²

飾花に適した品種

ニューギニアインパチエンス

(高さ 30cm 以上)

- ・ピンク
- ・マリータ
- ・レッドカーン

(高さ 30cm 未満)

- ・ダークバイオレット
- ・オレンジスター

サンパチエンス

(高さ 50cm 以上)

- ・ランバンダー
- ・オーキッド

(高さ 40cm～50cm)

- ・ブラッシュピンク
- ・ホホワイト
- ・パープル

発行：令和3年3月

作成：山梨県花き振興協議会